

●指定管理者業務評価シート(初年度評価)

施設名	富田林市立喜志駅地下自転車駐車場	施設所管課	道路交通課
指定管理者名	センターパーキング富田林		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 26 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者による『自己評価』及び施設所管課による『担当課評価』を実施し、その2つの評価結果を基に富田林市指定管理者選定委員会(以下、「委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

②評価基準

- ①自己評価及び担当課評価では小項目単位でa～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や自らの提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。
- ②委員会評価では、上記の2つの評価を基に委員会として1～10の10段階(10が最良)で評価を行う。

③評価項目

		自己	担当課	委員会
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	b	7.8
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	a	a	
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a	
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	b	b	
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	c	c	6.6
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	b	
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	c	b	6.5
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	c	c	
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	c	b	7.5
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b	
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a	
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	b	b	7.1
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	c	b	7.2
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	c	b	7.1
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	a	a	8.4
人材育成についての考え及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b	7.0
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b	
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	a	8.0
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b	8.0
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	a	a	
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	a	a	

		自己	担当課	委員会
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b	7.5
	23 外部受託者の業務の点検・評価が適正に行われている。	a	a	

④評価者コメント

指定管理者	基本方針、また計画に基づいた運営を行っているが、利用率が伸びない理由として、人口の減少及び企業の事業撤退が大きな要因と考えられる。また、今年度の支出面に関して、思いの外、施設の老朽化による修繕費の支出と電気製品の劣化による修繕費用が増加要因となった。電灯設備に関しても、将来を見越し、LED化に順次取り組み、間接的な環境保護と経費の節減を図ろうとしているが、電力会社の値上げによる支出増加は否めない。今年度の収支計算では、僅かに黒字となり貴市へ納付する事が出来た。しかし、安心できない状態であり、今後の運営を考える上で評価シートを記入する事により、気づきが生まれ、次年度に活かせる新たな施策を講じて業務を遂行して行かなければならないと考えます。
施設所管課	人口減少等により、鉄道等の公共交通利用者が減少しており、同様に駐車場も利用者数が減少した。また、施設の老朽化による修繕費の増大等により支出も増加したが、市への還付金を確保した。また、老朽化に伴う場内タイルの剥離について、管理員の早期の発見と応急対応により、駐車場利用者への落下被害を防ぐことができ、市への報告、対策についても迅速であった。剥離タイルの撤去工事に際しては、管理員を増員して利用者の安全確保に努めるなど、柔軟な対応で業務を行った。利用者の減少対策については市との調整会議中でも議題となっており、対策を検討中である。

⑤指定管理者選定委員会による総合評価

委員会評価結果※	委員会講評
73.9 点 <small>(小数点第2位以下を四捨五入)</small>	人権研修は業務に見合ったものであるか、コンプライアンスは全員に意識付けられているのか、その実施手法、内容についても担当課は把握しておくべきである。また、利用者増加策については、施設の特性上、PRをすれば足りるというのではなく、他施設との連携や自動車ユーザーの公共交通への誘導など、市と指定管理者が一体的に考えなければ困難であり、積極的な市のかかわりを求める。それでも、駅の乗降者数が、年々減少を続けているにも関わらず、制度導入前よりも市の費用負担を減少させ、さらに市民サービスも向上させていることが確認でき、全体的には良く運営されていると評価できる。

※ 各項目の得点の合計 88.7 ÷ [委員会評価項目数(12項目)×各項目の配点(10点)]×100

【参考】

	【千円】					
	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	0	0	0	0	0	0
利用料金	18568	18500	18412	18756	18583	17951

	(募集時提案)		(募集時提案)		(年度提案)		【人】
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
利用者数	9420	10986	9420	10939	10867	10596	

※平成26年度以降、提案書に利用者目標記載なし。

	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	—	75.9	—	77.4	—	74.4

●指定管理者業務評価シート(初年度評価)

施設名	富田林市農業公園	施設所管課	農業振興課
指定管理者名	農事組合法人 富田林市南地区協同組合		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 26 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者による『自己評価』及び施設所管課による『担当課評価』を実施し、その2つの評価結果を基に富田林市指定管理者選定委員会(以下、「委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

②評価基準

①自己評価及び担当課評価では小項目単位でa～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や自らの提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。

②委員会評価では、上記の2つの評価を基に委員会として1～10の10段階(10が最良)で評価を行う。

③評価項目

評価項目	自己	担当課	委員会
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	b
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	c	c
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	b	b
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	b	b
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

	自己	担当課	委員会
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	c	c
	23 外部受託者の業務の点検・評価が適正に行われている。	a	a
			6.4

④評価者コメント

指定管理者	26年度業務は、一部法令順守の整備や備品管理に課題を残すものの、概ね当初計画を達成できたものと判断する。とりわけ自主事業が順調に推移し、入園者数が8,000人増加、回復できたことは評価に値する。 ただ当農業公園の客筋は小さな子供連れの家族が多くを占めている現状と近年の少子化傾向を考え合わせると、先行きは極めて厳しいことが推察され、新たな策を講じなければならないことは充分承知しているが、より一層の充実を図るため、市担当課の助言を期待致したい。
施設所管課	○昨年度と比較して、有料入園者数(83,068人・8,136人増)、利用料金収入(42,797,400円・7,912,900円増)、自主事業売り上げ(185,995,690円・16,895,902円増)といずれも前年度を上回り、指定管理料の一部返還となった。 ○地産地消・地域住民をはじめとする交流、連携の場として、「にこにこ市場」が地域農業活性化の拠点となり、また、地域の関係団体との連携、市農業祭や朝市への出店販売、観光協会行事への参画、東条地区農空間保全協議会のイベント協力など、農業公園が地域の活性化に大きな役割を果たしていると考えます。

⑤指定管理者選定委員会による総合評価

委員会評価結果※	委員会講評
69.1 点 <small>(小数点第2位以下を四捨五入)</small>	事故防止、備品管理、コンプライアンスの徹底・周知方法など、組織の労務管理の視点で早期にしっかりと取り組んでいく必要がある。研修については、実施時期・内容などの検討も必要である。 栽培時期の工夫などにより前年度より利用者が増加したことは評価できるが、増減理由をより具体的に分析し、全国での取組みなどを情報収集して新しい取組みを考えるなど、さらなる入園者増加への工夫が必要である。 またメディアへの情報発信に新たな余地がないか検討し、取り組んでいただきたい。

※ 各項目の得点の合計 82.9 ÷ [委員会評価項目数(12項目) × 各項目の配点(10点)] × 100

【参考】

	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	87000	87000	96804	96015	97776	97612
利用料金	41500	39366	41500	34884	40000	42797

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用者数	87000	84219	88000	74932	85000

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用率	—	1.4	—	1.0	6.6

●指定管理者業務評価シート(初年度評価)

施設名	富田林市立総合福祉会館	施設所管課	地域福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 26 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者による『自己評価』及び施設所管課による『担当課評価』を実施し、その2つの評価結果を基に富田林市指定管理者選定委員会(以下、「委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

②評価基準

①自己評価及び担当課評価では小項目単位でa～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や自らの提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。

②委員会評価では、上記の2つの評価を基に委員会として1～10の10段階(10が最良)で評価を行う。

③評価項目

		自己	担当課	委員会
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a	7.6
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	a	b	
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a	
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a	
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a	7.2
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	b	
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	c	c	6.0
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b	
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	b	6.8
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b	
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a	
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。			
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	d	d	5.9
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a	7.3
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	a	b	6.8
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b	6.9
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	a	a	
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	b	6.8
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	a	b	7.0
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	a	b	
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	a	a	

		自己	担当課	委員会
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	a	b	7.1
	23 外部受託者の業務の点検・評価が適正に行われている。	a	a	

④評価者コメント

指定管理者	総体的な課題として、入浴施設の利用が低下してきていることが挙げられます。27年度以降は、利用者増及び収入確保に繋がるよう具体的な手法を検討し実施していく必要があります。特典付加などが有効であると考えますが、他の公共施設との整合性や条例に反しないかなど、担当課と相談・整理をしながら進めてまいりたいと思っております。
施設所管課	入浴施設の利用低下に伴う利用料収入の低下が問題であるが、入浴施設利用者が100人を下回っており、今後も利用者の高齢化により継続利用者の低下が見込まれる中、PR方法の変更や市のイベントとの連携など、指定管理者と担当者が共に考え今後の入浴施設のあり方を検討していく必要がある。

⑤指定管理者選定委員会による総合評価

委員会評価結果※	委員会講評
68.5 点 <small>(小数点第2位以下を四捨五入)</small>	福祉会館は、条例上で利用者が限定された施設である。そのため、利用者数の向上に当たっては、ゲートボール場をグラウンドゴルフユーザーに開放するなどの取組みが既に行われているが、さらに他市の実施事例等を収集し、時々の利用者ニーズを常に意識したサービス提供に努められたい。 また、市に対しても施設のイベントを市のウェブサイトに掲載するなど、積極的な関わりを求めるものであり、指定管理者と一層の施設設置目的の共有に努められたい。

※ 各項目の得点の合計 $75.4 \div [委員会評価項目数(11項目) \times 各項目の配点(10点)] \times 100$

【参考】

	【千円】					
	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	49,241	49,124	48,735	48,735	49,498	49,498
利用料金	1,864	1,801	1,976	1,584	1,800	1,531

	(募集時提案)		(募集時提案)		(年度提案)	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	54,102	55,893	57,132	58,318	105,072	103,779

※26年度より、フリースペースの人数もカウントしています。

	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	—	—	—	—	—	45.1%

●指定管理者業務評価シート(初年度評価)

施設名	富田林市立コミュニティセンターかがりの郷	施設所管課	地域福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 26 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者による『自己評価』及び施設所管課による『担当課評価』を実施し、その2つの評価結果を基に富田林市指定管理者選定委員会(以下、「委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

②評価基準

①自己評価及び担当課評価では小項目単位でa～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や自らの提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。

②委員会評価では、上記の2つの評価を基に委員会として1～10の10段階(10が最良)で評価を行う。

③評価項目

評価項目	自己	担当課	委員会
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	a	a
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	b	b
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	b	b
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

	自己	担当課	委員会
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部受託者の業務の点検・評価が適正に行われている。	a	a
			7.1

④評価者コメント

指定管理者	収支計画においては、施設や設備面での老朽化が進み、修繕費の割合が年々増加するとともに、収入面では横ばい状況にあり、今後収支バランスが崩れる恐れがあると予想される。
施設所管課	利用者数が、広報誌の発行、アンケート調査など利用者サービス向上策を実施したほか、自主事業として、25年度より開始したおもちゃ病院が周知されたことや、26年度より手話講座を開始したことにより増加している。また、通例行事の「かがりの郷まつり」や「カラオケ大会」などを通じて利用者と館の連携を強めている。施設の老朽化により、修繕費が増加していますが収支には大きな問題はなく安定した施設運営を行っている。

⑤指定管理者選定委員会による総合評価

委員会評価結果※	委員会講評
70.0 点 <small>(小数点第2位以下を四捨五入)</small>	昨年に比べ、利用者数は増加しているが、施設利用の大半が近隣住民となっていることから、より多くの地域の市民に利用されるよう情報発信に努められたい。また、利用者自身が企画するイベントや各種ワークショップの実施など、世代間交流をコンセプトとする本施設の設置意義を施設所管課、並びに利用者と共にしながら、利用促進にも努められたい。 研修については、すべての職員に積極的な参加を促し、より効果的な人材育成に取り組んでいただきたい。

※ 各項目の得点の合計 $84.0 \div [委員会評価項目数(12項目) \times 各項目の配点(10点)] \times 100$

【参考】

	【千円】					
	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	39514	39482	39711	39711	40864	40864
利用料金	7108	4994	6934	5317	5206	5206

	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用者数	50220	66093	54840	66217	64812

	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用率	—	—	—	—	—

●指定管理者業務評価シート(初年度評価)

施設名	富田林市立じないまち交流館	施設所管課	富田林市教育委員会生涯学習部文化財課
指定管理者名	富田林寺内町をまもり・そだてる会		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 26 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者による『自己評価』及び施設所管課による『担当課評価』を実施し、その2つの評価結果を基に富田林市指定管理者選定委員会(以下、「委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

②評価基準

①自己評価及び担当課評価では小項目単位でa～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や自らの提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。

②委員会評価では、上記の2つの評価を基に委員会として1～10の10段階(10が最良)で評価を行う。

③評価項目

		自己	担当課	委員会
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a	7.6
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b	
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a	
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	b	a	
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	b	b	6.5
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b	
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	a	7.3
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	a	b	
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	b	7.3
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	a	
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a	
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	b	b	6.8
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》			
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a	7.5
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b	6.8
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b	6.5
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	c	b	
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	c	c	5.8
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b	6.8
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b	
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b	

		自己	担当課	委員会
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	a	b	6.6
	23 外部受託者の業務の点検・評価が適正に行われている。	a	c	

④評価者コメント

指定管理者	じないまち交流館のHPにて、交流館の利用方法・展示予定・イベント予定・ボランティアガイド申込案内などの情報発信を行っている。また連携HPでは「寺内町瓦版」を掲載している。また四季物語等の地域団体が実施するイベントにも積極的に参加し、イベント等の問い合わせにも迅速に対応しており、サービスの向上を図っている。コスト面においては、指定管理当初から引き続き、必要最低限の人員、資金で施設の管理にあたっており、適正な施設管理、安定的なサービス供給を維持しつつ、コスト削減にも積極的に取り組んでいる。
施設所管課	事業計画を概ね充足した内容の施設運営が実施されている。特に当会で作成している近隣の駐車場情報やお店の情報などを記載した富田林寺内町の周辺マップが好評で、利用者数の向上や利用者サービスの向上に寄与しており、自主事業への積極的な取組や、地域のイベントなどへの積極的な取組の成果もあり、年間の施設入館者数は目標を上回る結果となっている。収支面においては、指定管理当初から引き続き、必要最低限の人員、資金で施設の管理にあたっており、適正な施設管理、安定的なサービス供給を維持しつつ、コスト削減にも積極的に取り組まれている。

⑤指定管理者選定委員会による総合評価

委員会評価結果※	委員会講評
68.6 点 <small>(小数点第2位以下を四捨五入)</small>	コンプライアンスについては、関係法令の周知に留めることなく、職業倫理の向上も含め、より具体的な事例を用いるなどした研修などを実施されたい。また、施設の評価については、単に利用者数(量)だけでなく、その利用目的(質)にも着目すべきである。さらに、イベント毎にデータの収集・分析を行うなどしてターゲットとする客層の把握、利用促進に努められたい。店舗情報を掲載した散策マップの作成など、公平性の観点から行政では制約を受ける分野において、市と役割を分担することで、この制度の利点をさらに活かされるものと期待する。

※ 各項目の得点の合計 $75.5 \div [委員会評価項目数(11項目) \times 各項目の配点(10点)] \times 100$

[参考]

	【千円】					
	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	4,606	4,606	4,673	4,673	4,642	4,642
利用料金	—	—	—	—	—	—

	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用者数	29,000	32,145	29,000	31,493	24,600

	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用率	—	—	—	—	—

●指定管理者業務評価シート(初年度評価)

施設名	富田林市立総合スポーツ公園	施設所管課	スポーツ振興課
指定管理者名	株式会社オーエンス		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 26 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者による『自己評価』及び施設所管課による『担当課評価』を実施し、その2つの評価結果を基に富田林市指定管理者選定委員会(以下、「委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

②評価基準

①自己評価及び担当課評価では小項目単位でa～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や自らの提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。

②委員会評価では、上記の2つの評価を基に委員会として1～10の10段階(10が最良)で評価を行う。

③評価項目

		自己	担当課	委員会
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	b	6.4
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b	
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a	
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	d	d	
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a	7.5
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	a	
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	b	c	6.8
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	a	a	
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a	7.8
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	a	
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	b	a	
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	b	b	6.8
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	a	a	7.6
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a	7.4
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	a	a	7.8
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b	6.9
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b	
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b	6.9
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b	7.0
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	a	a	
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b	

		自己	担当課	委員会
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	a	a	7.7
	23 外部受託者の業務の点検・評価が適正に行われている。	a	a	

④評価者コメント

指定管理者	指定管理者初年度ということもあり、利用者への混乱を避けるため前指定管理者の事業を中心に引き継ぐ形で運営をスタートしました。その中で野球場のグラウンド状態の改善が要望として多かったため、これまでの外部事業者による整備から職員の内製化による日々の整備方式へと転換しました。また、外野グラウンドへの冬芝の導入を初めて行い、1年間を通して快適な施設環境を提供できたと考えています。また、施設の老朽化から修繕が必要な箇所が多くなっていることから、施設責任者にある程度の予算執行の権限を委譲し、緊急性の高いものについては即時対応できる体制へと変更しました。2年目以降に関しては事業等により特色のあるものを取り入れていきたいと考えています。
施設所管課	指定管理初年度であり、前指定管理者の事業引き継ぎ等があるため、独自色を出すことが困難であったと思われる。しかしながら、利用者数向上策・利用者サービス向上策等は積極的に行われており、結果、利用率も向上するなど非常に評価できる部分も多々ある。今後、更なる向上に努められることと期待している。

⑤指定管理者選定委員会による総合評価

委員会評価結果※	委員会講評
72.2 点 <small>(小数点第2位以下を四捨五入)</small>	研修について、コンプライアンスは特に重要であるため、十分な内容・ボリュームで実施されたい。そして、市内外のスポーツクラブなどに対してパンフレットを配布するなどの更なる利用促進と、業務引き継ぎの1年目を終えたことで運営における更なる独自性の発揮にも期待する。 環境配慮の取り組みの評価については、各取組みの是非を踏まえたものとともに、定量的な評価について検討されたい。また、利用率が低い施設については、名称変更や用途転用等のリノベーションを含め、施設がより使われ易くなるよう、その供給のあり方について議論されるよう望む。

※ 各項目の得点の合計 $86.6 \div [委員会評価項目数(12項目) \times 各項目の配点(10点)] \times 100$

[参考]

	【千円】					
	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	43,761	43,138	42,908	42,908	43,381	43,254
利用料金	17,500	17,021	17,700	16,984	17,900	16,848

	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	—	92,757	—	96,846	—	96,200

	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	—	41.1	—	42.7	—	43.4

●指定管理者業務評価シート(初年度評価)

施設名	富田林市市民会館(レインボーホール)	施設所管課	社会教育課
指定管理者名	アクティオ株式会社		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 26 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者による『自己評価』及び施設所管課による『担当課評価』を実施し、その2つの評価結果を基に富田林市指定管理者選定委員会(以下、「委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

②評価基準

- ①自己評価及び担当課評価では小項目単位でa～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や自らの提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。
- ②委員会評価では、上記の2つの評価を基に委員会として1～10の10段階(10が最良)で評価を行う。

③評価項目

		自己	担当課	委員会
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	b	7.2
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b	
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a	
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	b	b	
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a	7.3
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b	
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	a	7.4
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b	
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a	7.7
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b	
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a	
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	c	c	6.0
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	c	c	5.8
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a	6.9
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b	7.0
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b	6.8
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b	
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b	6.9
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b	7.1
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b	
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b	

		自己	担当課	委員会
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	a	a	7.8
	23 外部受託者の業務の点検・評価が適正に行われている。	a	a	

④評価者コメント

指定管理者	26年度においては、講座等の事業及び、施設の安全管理、市民の声をいかにするという部分に注力。多様な各種講座を展開し、スポーツ大会など、地域団体の交流を図る企画も実施しました。地元NPOとの連携も図り、イベントも実施。また、意見箱などの市民の声も随時反映し、HPの更新、駐車場の安全確保など、市民の声をいかした運営を行いました。利用料金収入については、予算より下回ったため、次年度以降、貸館・講座での集客が課題。
施設所管課	アクティオ株式会社は、平成26年度より新たに市民会館の指定管理者に選定されたこともあり、全国的に幅広い事業展開している強みを生かし、市民の交流促進、子育てのバックアップなど多彩な講座の実施など利用者サービスの向上に積極的に取り組み、良質な施設運営に努めた。また、市民会館利用者からの要望、苦情等にも迅速、丁寧に対応し、利用者の安全、安心、快適な利用に重点的に取り組んだ。

⑤指定管理者選定委員会による総合評価

委員会評価結果※	委員会講評
69.9 点 <small>(小数点第2位以下を四捨五入)</small>	自主事業の実施に当たっては、収益を上げることに加えて、新たな貸館利用者の発掘という本来の目的の達成に繋げるためのビジョン・プロセスを明確にされたい。研修についても、その実施内容が当該ビジョンに通ずるものとなっているのか、という点について担当課との確認を行いながら実施していただきたい。また、利用促進については、施設の空き状況や利用客層等の分析により新たな客層を掘り起こすとともに、担当課とも協力して、他の公共施設と積極的に連携・協力を努められるよう望む。

※ 各項目の得点の合計 83.9 ÷ [委員会評価項目数(12項目) × 各項目の配点(10点)] × 100

【参考】

	【千円】					
	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	55,839	55,839	56,351	56,351	56,657	56,555
利用料金	21,600	20,410	19,120	17,981	20,000	18,821

	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	117,712	115,906	115,342	106,260	117,240	115,122

	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	—	79.7	—	70.9	—	75.5

●指定管理者業務評価シート(初年度評価)

施設名	すばるホール	施設所管課	社会教育課
指定管理者名	公益財団法人富田林市文化振興事業団		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 26 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者による『自己評価』及び施設所管課による『担当課評価』を実施し、その2つの評価結果を基に富田林市指定管理者選定委員会(以下、「委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

②評価基準

①自己評価及び担当課評価では小項目単位でa～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や自らの提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。

②委員会評価では、上記の2つの評価を基に委員会として1～10の10段階(10が最良)で評価を行う。

③評価項目

評価項目	自己	担当課	委員会	
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	b	6.8
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	a	b	
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a	
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	b	
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a	6.6
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b	
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	c	c	6.2
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b	
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	c	c	6.4
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b	
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a	
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	a	b	6.6
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	c	c	5.8
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a	6.8
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b	6.8
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b	6.6
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	a	b	
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	b	6.9
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b	6.9
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	a	a	
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	a	b	

		自己	担当課	委員会
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	a	a	7.5
	23 外部受託者の業務の点検・評価が適正に行われている。	a	a	

④評価者コメント

指定管理者	市民の積極的・自主的な文化活動の一層の促進と機会の充実を図るため、「地域とともに」を基本理念とし、身近で親しむことができる様々な事業を実施するとともに、芸術文化創造の核となる人づくりや次世代を担う子どもたちへの芸術文化活動にも積極的に取り組み、市民芸術活動の支援、人材育成の推進並びに教育活動への貢献などにより、特色ある富田林市の芸術文化の創造・発信に努めました。 文化事業においては、幅広い世代の「市民参加」、次代を担う子どもたちの「育成」、文化活動団体の「支援」を事業の主軸とし、施設全体を活用した「すばるキッズアートフェスティバル2014」をはじめ、倉本聡の新作舞台「富良野グループ公演2015冬ノクターン」や、次代を担う子どもたちの芸術体験事業「アウトリーチ」など、多彩な文化事業を実施しました。 公立文化会館の指定管理者としては、富田林市の文化芸術発信拠点である「すばるホール」において、おもてなしの心を大切にしたホスピタリティーの高い会館運営に心がけるとともに、特色のある運営と市民サービスの向上に努めました。また、利用者や来館者が安全で安心してご利用できる施設の整備にも取り組みました。
施設所管課	事業団の積極的かつ多彩な文化事業の展開は一定認められるが、すばるホールは、施設規模が大きく、多大の管理運営経費を要するため、収支の大幅な改善等、今後ともより一層の効率的な運営が求められる。

⑤指定管理者選定委員会による総合評価

委員会評価結果※	委員会講評
66.6 点 (小数点第2位以下を四捨五入)	運営については、明確な運営方針、求める人材像の下で研修等を実施し、また公益通報窓口や統括部門の設置など、具体的なコンプライアンスの体制整備も進められた。また、利用促進については、発信媒体の工夫自体は評価するが、その反応・効果の検証を行い、常に改善に努められたい 事業の実施については、現在でもアウトリーチなど地域の芸術・文化の裾野を広げる活動に取り組まれているが、「地域とともに」をスローガンとしている以上、さらに観客をサポーターに転換し、ともにすばるホールを育てようとする働きかけと広く協力を求め、機運の醸成に努められたい。

※ 各項目の得点の合計 79.9 ÷ [委員会評価項目数(12項目) × 各項目の配点(10点)] × 100

[参考]

	【千円】					
	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	259,272	251,174	257,652	257,652	241,984	241,856
利用料金	55,000	58,451	55,000	59,502	57,200	56,470

	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用者数	250,000	231,572	250,000	237,694	260,000

	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用率	—	69.9	—	68.8	—

●指定管理者業務評価シート(初年度評価)

施設名	富田林市ケアセンター	施設所管課	地域福祉課
指定管理者名	一般財団法人 富田林市福祉公社		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 26 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者による『自己評価』及び施設所管課による『担当課評価』を実施し、その2つの評価結果を基に富田林市指定管理者選定委員会(以下、「委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

②評価基準

①自己評価及び担当課評価では小項目単位でa～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や自らの提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。

②委員会評価では、上記の2つの評価を基に委員会として1～10の10段階(10が最良)で評価を行う。

③評価項目

		自己	担当課	委員会
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	a	7.4
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b	
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a	
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a	
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	b	b	6.3
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b	
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	a	7.1
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b	
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a	6.9
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b	
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a	
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	b	b	6.7
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	b	b	6.8
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a	7.4
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b	6.8
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b	6.4
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b	
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b	6.7
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b	6.9
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b	
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b	

		自己	担当課	委員会
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b	7.1
	23 外部受託者の業務の点検・評価が適正に行われている。	a	a	

④評価者コメント

指定管理者	平成26年度は、平成26年度から5か年の指定管理指定の初年度に当たり、指定申請時の管理運営の基本方針等を踏まえ、平成26年度事業計画に則り、各事業を推進し、概ね計画に沿った成果を得られたものと考えている。また、富田林市ケアセンターの管理に関する年度協定第5条に規定する、指定管理料の還元として、6,772,000円を市に還元することができ、些少なりとも市財政へ貢献できたものと考えている。
施設所管課	デイサービスの定数増や休館日を月曜日に統一することによる開館日の増加により、老健施設、世代間交流施設ともに利用者数が増加しています。また、利用者数の増加により、収入が予定を上回り指定管理料の還元となりました。施設利用者数を増やす提案や、現在の利用方法に適した環境づくりなどを積極的に進めていることを評価しています。

⑤指定管理者選定委員会による総合評価

委員会評価結果※	委員会講評
68.8 点 <small>(小数点第2位以下を四捨五入)</small>	職員研修について、常勤職員を対象に実施されているとのことであるが、多数の非常勤職員の存在があつて成り立っている施設であることから、これに限らず各職員が担う役割に応じて必要なスキルを身につけられるよう、計画的な研修実施に努められたい。また、危機管理策について、利用者の負担を最小限に抑えるという前提で、あらゆる被害想定に対処するための効果的な訓練のあり方について検討されたい。最後に、自主事業の実施に当たっては、賑わいを求めることのほかに、それをいかにセンターの利用に繋げるのか、という視点から実施効果を担当課と共有しながら検証し、今後の施策を検討されたい。

※ 各項目の得点の合計 $82.5 \div [委員会評価項目数(12項目) \times 各項目の配点(10点)] \times 100$

【参考】

	【千円】					
	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	131,832	131,141	127,427	127,427	137,923	137,923
利用料金	416,666	393,307	423,939	430,363	449,218	450,926

	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	149,930	156,674	142,602	165,191	142,602	165,760

	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	—	—	—	—	—	29.88

●指定管理者業務評価シート(初年度評価)

施設名	富田林病院	施設所管課	健康づくり推進課
指定管理者名	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 26 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者による『自己評価』及び施設所管課による『担当課評価』を実施し、その2つの評価結果を基に富田林市指定管理者選定委員会(以下、「委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

②評価基準

①自己評価及び担当課評価では小項目単位でa～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や自らの提案(事業計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。

②委員会評価では、上記の2つの評価を基に委員会として1～10の10段階(10が最良)で評価を行う。

③評価項目

		自己	担当課	委員会
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a	7.5
	2 医療廃棄物等において環境への配慮がなされている。	a	b	
	3 施設利用における公平性(経済的・疾病的・年齢)が確保されている。	a	a	
	4 自治体・地域医療機関等との意見交換や連携が適切に行われている。	a	a	
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a	7.5
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	a	
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	b	b	6.9
	8 利用者への情報提供が適時かつ適切に行われている。(医療法による広告可能な範囲)	a	a	
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	b	b	6.5
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	a	b	
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a	
	12 南河内圏域救急医療体制の協力病院として救急医療の提供が適切になされている。	a	a	
社会貢献事業	13 市と連携・協力しながら、政策的医療の提供など、公的病院としての役割を果たしている。	a	a	7.3
	14 社会貢献事業の内容が、施設の利用を促進し、また施設目的の達成に寄与している。	a	a	
収支計画	15 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》			
	16 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》			
人員配置計画	17 提案に基づき、安定した医療提供のための人員配置・勤務体制となっている。	b	b	7.0
	18 障害者雇用促進法を遵守している。	a	a	
人材育成についての考え方及び研修計画	19 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	a	a	7.5
	20 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	a	a	
危機管理策	21 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	a	7.2

		自己	担当課	委員会
日常の安全管理	22 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	a	a	7.0
	23 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b	
その他	24 医療用機器を含む備品を適切に管理している。	a	a	6.1
	25 外部受託者の業務の点検・評価が適正に行われている。	a	c	

④評価者コメント

指定管理者	すべての項目において一定の評価に値する結果と認識している。市立病院としてのひとつの役割である小児・周産期医療の提供においては継続した安心できる体制を確保しつつある。患者が利用してもらいやすくするために患者送迎サービスの充実をはじめとし、市から補助金をいただきながら検査機器の新規導入も図ったところである。また社会貢献事業を積極的に推し進め、医療講演会等による病気・健康の情報発信を行うことはもとより、済生会の理念でもある生活困窮者への支援として生活保護受給者への無料健診も行った。さらに、危機管理対策として災害が発生した場合に直ちに現場への医療提供が出来るよう大阪DMATを編成し、市民のみならず医療圏内の大規模災害時における安心体制を確立する為に努力を重ねている。 人材育成についても、日進月歩で進化する医療に対応できる職員教育は最も重要であることから人権研修のみならず、職員の様々な医療分野における研究・研修に対しサポートを行いより良質な医療提供が出来る様、個々のスキルアップに繋げた。 ただ、施設の維持管理については老朽化が進んでおり、その修繕等については建物設備が行政財産であることから指定管理者での対応には限界がある。
施設所管課	医師の確保に努力はしているものの、世間一般的に医師不足であるため、医師確保が進まず、入院患者の減となっている。 今後、あらゆる方策を講じて医師確保に努める必要がある。 職員研修を積極的に実施し、患者の要望・苦情対応等で即座に対応できるものは、迅速に改善を進めている。 また、市の政策的医療として、準夜初期救急、二次救急等の救急診療体制の整備、お産センター、小児急病診療を実施している。 危機管理策としては、市の災害医療センターの役割を担い、DMAT隊を編成し、市の防災訓練に参加する等、災害時対応の習熟・連携に努めている。 社会貢献活動としては、医療講演会、とんとんキッズ、看護フェアを実施し、市民への医療情報提供に努めており、また、無料低額診療や、生活保護受給者への無料健診、女性医師による女性専用外来を行うなど、あらゆる市民への医療提供、健康増進に対応できるよう努めている。

⑤指定管理者選定委員会による総合評価

委員会評価結果※	委員会講評
70.5 点 <small>(小数点第2位以下を四捨五入)</small>	苦情・要望等の報告から接遇面での不満が多く見受けられる。接遇については、新規採用職員に対する研修がなされているようだが、慣れた職員に対する苦情も中には含まれており、来院者の気持ちになつて、気づきを持って、病院運営に当たれるよう職員全員が担っていく必要がある。これまで以上に患者の心に寄り添う接遇の実現に向け、今後の研修計画を検討されたい。また、コンプライアンスについては、医業という特殊な職務を担っていることから、周知実施の事実には留まらず、職員の理解度についても把握されるよう努められたい。

※ 各項目の得点の合計 70.5 ÷ [委員会評価項目数(10項目) × 各項目の配点(10点)] × 100

[参考]

	【千円】					
	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入合計						
支出合計						

	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	入院患者数	72,270	66,043	72,270	64,011	70,445
外来患者数	182,650	182,288	186,865	178,865	186,500	184,702

	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	病床利用率	78.9	72.1	78.9	69.9	76.9